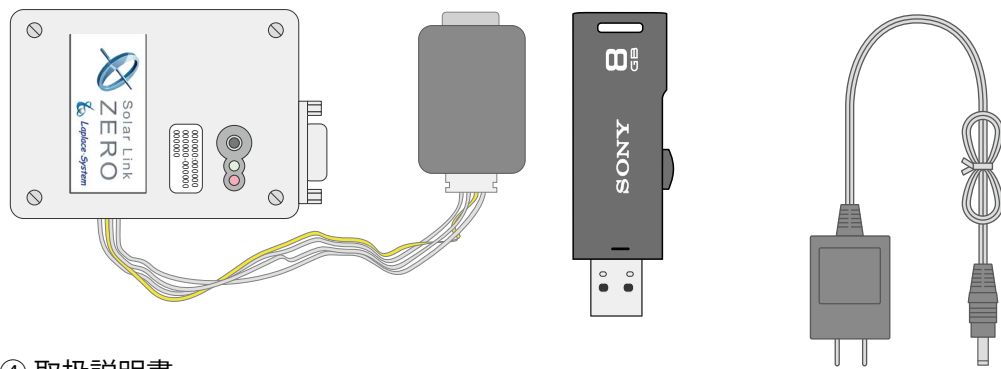


◆ Solar Link ZERO の基本構成

内容物の確認

- ① Solar Link ZERO 本体 ② 専用 USB メモリ ③ 専用 AC アダプタ

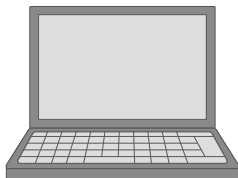


- ④ 取扱説明書
⑤ 施工説明書
⑥ 簡易施工説明書 —— (本紙)
⑦ Web アプリケーション取扱説明書
⑧ IP アドレス出荷時設定表 (Solar Link ZERO に設定されている IP アドレス情報)

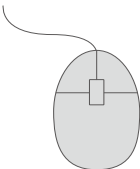
◆ 施工時に必要なもの

現地で準備するもの

計測の開始と確認に下記のものがが必要です。

☐ Windows PC

USB 端子と LAN ポートのあるもの。
対応 OS：Windows 7、VistaP。USB 端子は必須。
専用 USB メモリ (設定変更用) 内のプログラムを使い
設定変更を行います。
持ち運びがしやすいノート PC を推奨します。

☐ USB マウス

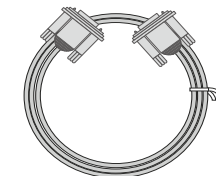
USB 端子に接続できる有線マウス。
Solar Link ZERO 本体の「時計合わせの設定」に必要となる
場合があります。

☐ LAN ケーブル

Windows PC と Solar Link ZERO を接続する場合に使用
します。ネットワークハブ等がなく、Windows PC と
Solar Link ZERO を 1 対 1 で接続する場合は、クロスケーブル
を用意します。

☐ PC モニタ

RGB 端子 (ミニ D-Sub15pin) のある PC 用モニタ。
Solar Link ZERO 本体の表示確認に必要となる場合があります。
ノート PC で代用することはできません。
現地に表示用のディスプレイがあり、Solar Link ZERO 本体の
設定をしながら画面が確認できる場合は不要です。

☐ RGB ケーブル

Solar Link ZERO 本体と PC モニタを接続するケーブル。
Solar Link ZERO 本体の表示確認に必要となる場合があります。
現地に表示用のディスプレイがあり、Solar Link ZERO 本体の
設定をしながら 画面が確認できる場合や、モニタに付属して
いる場合は不要です。

配線に必要なもの

信号線の配線前に下記をご確認ください。

- ☐ RS-485 通信ケーブル (パワーコンディショナから右記の変換器まで)
パワーコンディショナからの RS-485 通信を行うためのケーブルです。
推奨通信ケーブル：シールド付きツイストペアケーブル KPEV ケーブル相当品
※ 必ず配線工事前にパワーコンディショナが 2 線式か 4 線式かの確認を行ってください。

- ☐ 圧着端子 (RS-485 通信ケーブルを変換器に接続する場合に使用)

GP-NET に使用できる圧着端子 (必須ではありません)
推奨接続端子：TE Connectivity・メーカー型番：329951・適合線：26-22 AWG

KS-485PTI に使用できる圧着端子
推奨接続端子：(株) ニチフ端子工業製 TMEV 1.25-3 相当品

◎ パワーコンディショナのアドレス設定の確認

パワーコンディショナのアドレスが設定されていることを確認します。

- ※ 先頭番号から始まり、同じ番号が重複していないことを確認します。
- ※ パワーコンディショナの設定や操作方法はパワーコンディショナのメーカーや
パワーコンディショナに付属の取扱説明書を確認してください。

【パワーコンディショナ本体のアドレス設定例】

※ 具体的な手順はパワーコンディショナの取扱説明書を確認してください。

■オムロン製パワーコンディショナの場合

- KP55F で 2 台以上接続している場合：1 台目から「01」、「02」…と設定してください。
- HEP040 で 2 台以上接続している場合：1 台目から「00」、「01」…と設定してください。

■安川電機製パワーコンディショナの場合

【1 台の場合】

パワーコンディショナのアドレス番号を「01」に設定してください。

【2 台以上の場合】

パワーコンディショナのアドレス番号を 1 台目から「01」、「02」…と設定してください。

STEP 1 本体の設置・接続

◎ 本体の設置

設置環境

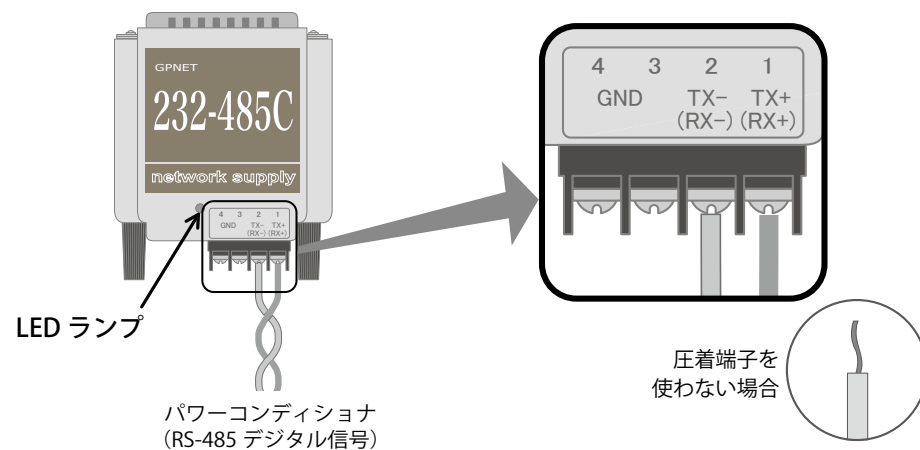
- 必ず手が届くところに設置してください。設置後に本体のスイッチ操作や、
専用 USB メモリの抜き差し、LED 表示の確認が必要です。
- パワーコンディショナからの RS-485 通信ケーブルが十分に届く場所。
- ZERO 本体と電源コンセントが専用 AC アダプタを用いて接続可能な場所。
(専用 AC アダプタのケーブル長：180cm)
- ZERO 本体を入れる収納箱がある場合は収納箱を設置できる広さが十分にある場所。
- 平らで滑りにくい場所。

◎ パワーコンディショナの接続

下図を参考に、本体の端子台部にパワーコンディショナからの RS-485 通信ケー
ブルを信号変換器に接続してください (詳しくは「施工説明書」P.11 ~ 12 を参照)。

ネットワークサプライ製 (GPNET) を使用する場合

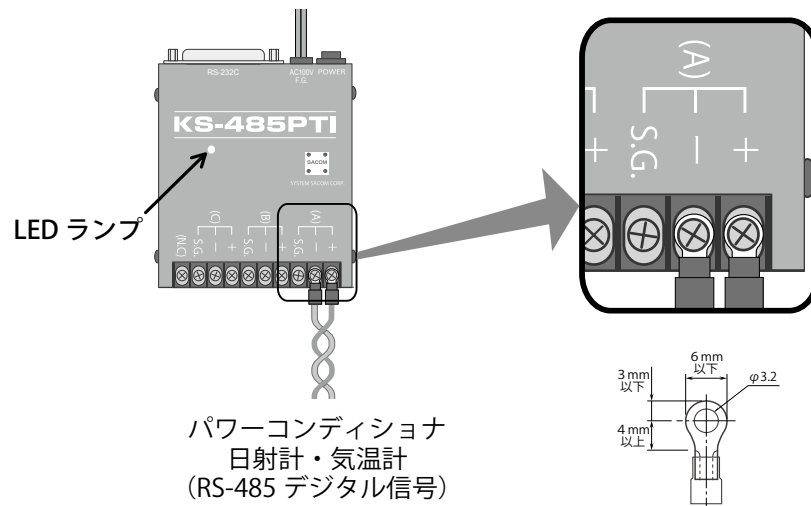
- パワーコンディショナからの RS485 信号線を変換器に接続します。
‘+’、‘-’を間違えないように接続してください。



AC アダプタを接続し、本体の LED ランプが点灯していることを確認して下さい。

システムサコム製 (KS-485PTI) を使用する場合の接続

- パワーコンディショナからの RS-485 信号線を変換器に接続します。
- (A) の ‘+’、‘-’に極性を間違えないように接続してください。

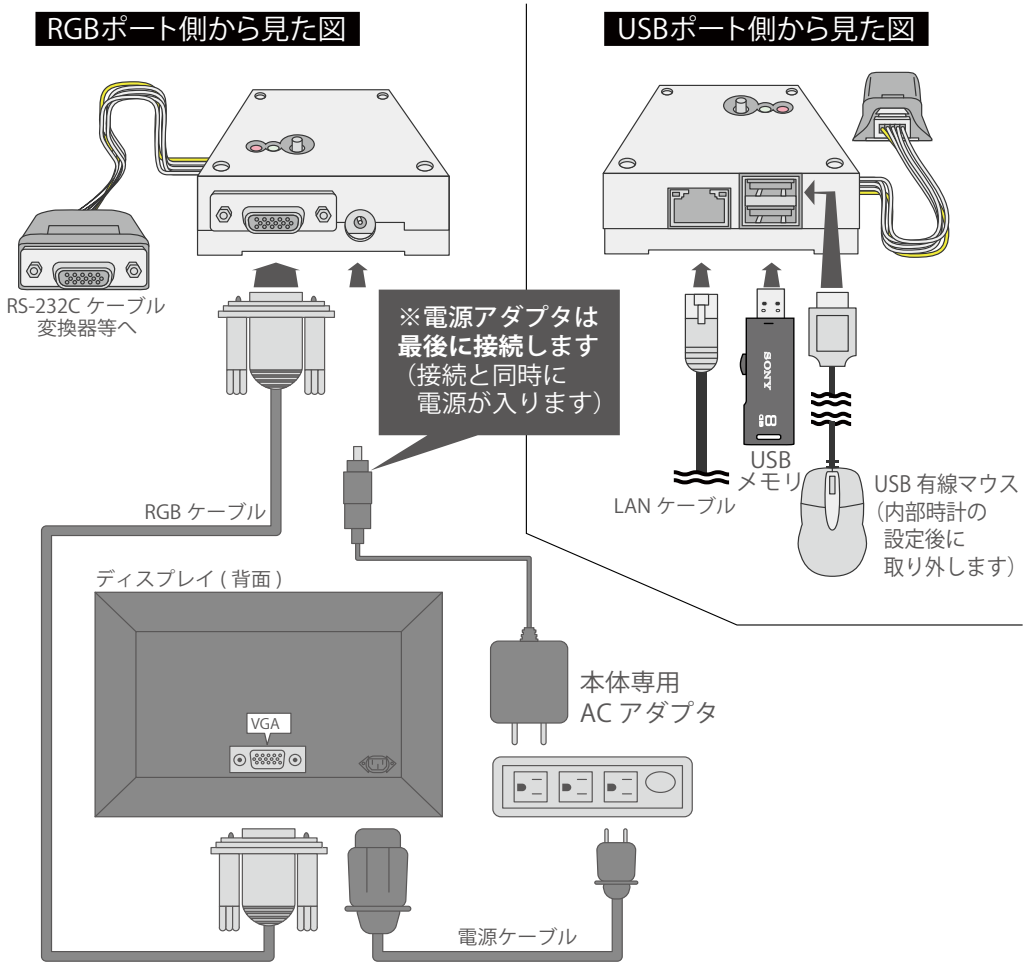


※ 変換器本体の電源スイッチを忘れずに入れてください。電源が入った状態で
あれば、Power の LED スイッチが緑色点灯します。

裏面 へ続く

◎ 本体への周辺機器の接続

- ① 下図を参考に、Solar Link ZERO 本体に、専用 USB メモリ・マウス・RGB ケーブル・LAN ケーブルを接続します（周辺機器が有る場合はそれらの電源を入れます）。

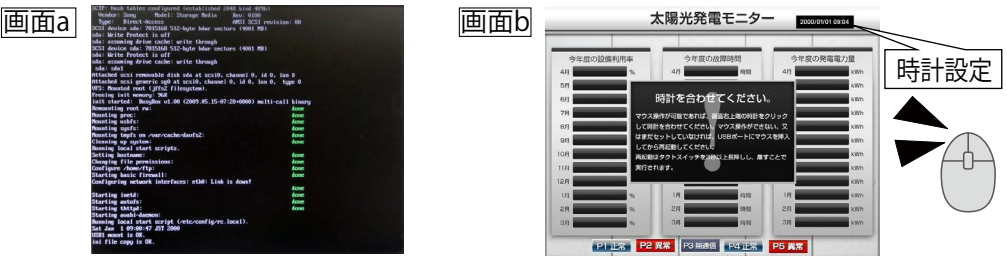


STEP 2 計測の確認

◎ 電源の投入と時計合わせの設定

Solar Link ZERO は、約 3 日間電源が供給されなかった場合、日付と時刻の設定が初期化され、時計合わせの作業が必要になります。

- ② 本体に、専用 AC アダプタを接続。 →本体が自動起動し画面 a が現れます。
- ③ 内部時計がリセットされていると画面 b が表示されます。
内部時計が保持されている場合は画面 b が表示されません。 →計測の確認⑦へ

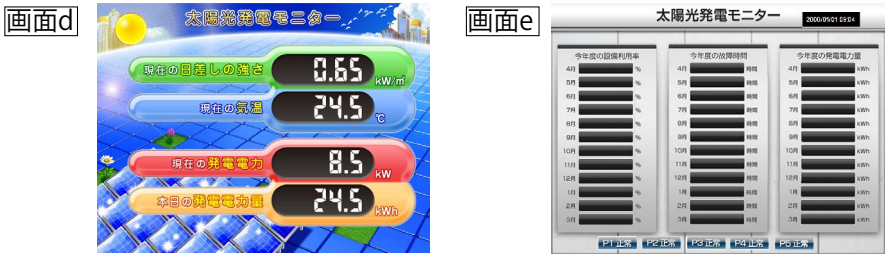


- ④ マウスを操作し、画面 b 右上にある時計をクリック。次いで、「TIME SET」をクリック。
- ⑤ 画面 c で表示されている日時を「Clear」をクリックして消去し、現在の時刻の次の分を 12 桁の数値で設定します。
例) 現在が 2013 年 10 月 30 日 9 時 11 分の場合
→「201310300912」を入力
- ⑥ 入力した時刻になれば「Set」をクリック。「時刻合わせ完了！」の表示を確認して「Exit」をクリック。次いで「EXIT」をクリック。
マウスを Solar Link ZERO 本体から外します。
(画面 b の時計設定の表示と現在時刻を確認します)



◎ 計測の確認

- ⑦ 計測表示 画面 d または画面 e が表示されます（直前の状態により何れかを表示）。
少し待って、データが表示されることを確認します。



- ⑧ 計測表示 画面 d または画面 e の画面切替は、Solar Link ZERO 本体のタクトスイッチ（黒いボタン）を押します（3 秒以内で 1 回以上）。
- ⑨ 計測表示 画面 d 等で、正しくデータが表示されているか確認します。
- ⑩ 再度、タクトスイッチを 3 秒間ほど長押しした後、離し、Solar Link ZERO を再起動します。

● 表示がされないときは

本体にモニタを接続すると、どのような画面が表示されていますか？

● 真っ暗な画面、または、何も表示されない。

ディスプレイの電源は ON になっていますか？
ディスプレイの電源が ON になっているか、再度確認してください。

Solar Link ZERO 本体は起動していますか？
本体の LED ランプ表示については同梱の「施工説明書」P.21 を参照し、正しく起動されているか確認してください。

Solar Link ZERO 本体とディスプレイが正しく接続されていますか？
Solar Link ZERO 本体とディスプレイ間の RGB ケーブルに緩みや外れがないか、再度確認してください。

大型ディスプレイの入力（ライン）切替が正しく設定されていますか？
「パソコン」、「PC」、「RGB」、「入力 7」など、メーカー毎に表現も異なります。
大型ディスプレイの説明書もご参照の上、再度確認してください。

● 計測ができないときは（RS-485 接続）

● 計測画面は表示されているが、データの欄が「---」となっている。 または、P1 無通信 などの「無通信」アイコンが表示されている。

RS-485 ケーブルが正しく接続されていますか？
RS-485 通信に LAN ケーブルを利用する場合、ケーブルを Solar Link ZERO 本体の LAN ポートに接続しないようご注意ください。

RS-485 信号線のプラス・マイナスの接続が逆になっていませんか？
Solar Link ZERO 本体の端子台に接続されたパワーコンディショナからの RS-485 信号線のプラス・マイナスが正しいかを確認してください。

RS-485 信号線が断線していませんか？
RS-485 信号線が途中で断線していないかを確認してください。
※ 特に RS-485 通信に LAN ケーブルを利用する場合、LAN ケーブルを敷設する途中で断線してしまった例が多くあります。ご注意ください。

パワーコンディショナの電源は投入されていますか？
パワーコンディショナの電源が入っていないと、計測値が表示されません。

パワーコンディショナのアドレス設定はされていますか？
パワーコンディショナのアドレス設定が正しいか確認してください。
(オムロン製・安川電機製パワーコンディショナの場合は裏面参照)

● エラー画面が表示されている。

時計を合わせてください。
「時計を合わせてください」が表示。
「STEP 2 計測の確認」の「電源の投入と時計合わせの設定」を参考に、時計合わせの設定を行ってください。

データフォルダが認識できません。
「データフォルダが認識できません」が表示。
画面指示に従って、USB メモリの再接続をしてください。

データフォルダが認識できません。
1.現在の状態で、USBを一度抜いてください。
2.その後、再度正しく装着してください。
3.USBメモリ認識にしばらくお待ちください（目安10秒）。
上記の確認・作業を行い、再起動してください。
再起動はタクトスイッチを3秒間ほど長押しし、離すことで実行されます。

起動画面が途中で止まってしまった。
本体の再起動を行ってください。
1.本体の Solar Link ZERO タクトスイッチ（黒いボタン）を 3 秒長押しします。
2.自動で本体の再起動が行われます。

・本紙だけでは解決できない場合、同梱の「施工説明書」P.16 ～ 17 もご参照ください。

株式会社 ラプラス・システム TEL: 075-634-8073